



第43号
発行年月日
平成28年1月6日
日田市南友田100-1
日田木材協同組合
総務企画委員会発行
TEL24-2167

★日田木材協同組合百年を語る

当時の生産額は杉一四、一三四円、木炭二、九〇一円、薪一、〇七四円、竹材一〇三三円であった。

明治二十二年から近代産業が盛んになり、特に軽工業を中心に洋紙、セメントなどの製造業、ビール醸造業などの大工場が設立されるようになった。

東海道線は全線開通するとともに、政府の助成で民間鉄道建設事業が盛んになり、路線は急速に延びていった。九州では九州鉄道によって小倉、行橋間が着工された。

このような情勢の中で、明治二十二年十二月、当時県内の二大政党の一つであった改進黨系の有志によって隈町に、株式会社日田銀行（資本金二五万円）が設立された。

次号へ続く



新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、ご家族お揃いで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃から、いろいろな組合事業にご協力いただき感謝申し上げます。今年度の組合事業は、原木市場、資材、共販、加工事業等どこも樂觀を許さない業界の環境下ではございますが、年度末に向け役員一丸となり努力いたす所存でございますので、組合員の皆様のさらなるご協力をよろしくお願いいたします。

恵良土場の造成も着実に進んでおりますが、もう一息必要な状況です。是非お近くをお通りの際は現地をご覧ください。

また、昨年は組合にて不審火騒動があり、組合員の皆様には大変ご心配とご迷惑をおかけいたしました。今後にもさらに防犯・防火に努めてまいります。

昨年は、通常の組合事業に加え木材需要をいかに増やすための事業を行いました。一昨年は、組合員向けの勉強会を開催いたしました。昨年は建築士向けのセミナーを開催させていただきました。少しでも木造建築物が建築され、木材需要が増えることに寄与すればと思います。また、こども園等に玩具のプレゼントを行い木育の体系化にも努めてまいりました。さらに森ツアー等の企画を計画いたしております。いずれも日田市が昨年策定した森林・林業・木材産業振興ビジョンの具現化を目指したもので

ておりますのでご理解いただきたくよろしくお願いたします。

組合員の皆様にとりまして本年が、より良い年になりますことを祈念いたしました。ご挨拶に替えさせていただきます。

★日田商工会議所・日田地区商工会から日田市への陳情 回答

今年度、木材業界からの要望書を、日田市へ日田商工会議所・日田地区商工会を通じて提出し、回答を頂きました。

《要望事項》
木材の需要拡大対策支援と業界の安定的発展について、（継続）

林業・木材産業は、日田市の基幹産業であります。これらを取り巻く状況は、厳しさを増しています。中略）昨年制定されたビジョンを現実のものとするよう、特段のご配慮をお願いします。

《回答内容》
本市では、昨年度、今後の基本的な指針となる「新しい日田の森林・林業・木材産業振興ビジョン（日田もりビジョン）」を関係者の皆様とともに策定いたしました。

ビジョンにおいては、森林・林業・木材産業の再クラスター化」を掲げ、本市にある様々な資源をベースに業種横断的な人的ネットワークを形成しながら、より強固な連携によって産業振興を図っていくこととしていきます。

それらを踏まえ、適切な森林の循環を促すことを含め、日田材の需要を拡大するため、学校をはじめとした公共施設の木造・木質化を進め、また、木づかい促進事業による日田材の支給や、より多くの市民への木材の良さの普及啓発のための店舗リフォーム等への助成を行っています。さらに、国内需要の減少を見据えた海外出荷等への対応も業界団体等への支援を中心に行っているところとです。

これら様々な振興策については、今後も関係団体の皆様と協議しながら進め、日田もりビジョンの具体化に取り組んでまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

★木育プログラム検討会を開催

当組合では、木青会が主体となり、長年、木工教室を開催し、単独で木育に取り組んできました。最近では、工作をする前に、山づくりの話や製材所での製品づくり、住宅の素材として木材を使うことなど、建築士会などの協力をいただき以前より幅広い木育を行っています。

「木育」とは幼児期から原体験としての木材との関わりを深め、豊かな暮らしづくり、社会づくり、そして森づくりに貢献する市

民の育成を目指す活動です。

子供の時から、木材の素晴らしさを教える体感させなければなりません。そのためには、その根拠 自然・森林・樹木・林業の大切さ等も教えるなければなりません。組織化され体系化された仕掛けとして教えることが重要です。木育の4つの要素は①生活する木質環境の重要性 ②使用する木質生活用具の重要性 ③それらを作る 加工する・組み立てる）体験の重要性 ④自然に即した生活スタイルの大事さを納得させる林業・森林・環境教育の重要性です。これらを幼児から小学生・中学生・高校生・大人として成長する過程において、体験等をしていただくため、プログラムの作成に取り組んでいます。木育を受けたい時に、何時でも対応できる体制をつくるのが大切です。そのため、森林インストラクターの方や林業家、建築設計士、大工さん、行政の方等幅広い関係者の協力をいただき、木育プログラムの体系化の検討会を開催しています。



★前津江山・五馬山の山林視察

木協の所有する前津江・五馬山林等の視察を平成27年12月12日（土）に役員、職員総勢17名（役員全員参加）で実施致しました。内容としては各山林現場にて図面での全景・位置・境界確認、その後、林内境界付近へ歩行進入して実際に現地確認すること、また、この森が木育の場として適当か調査する事です。

まず前津江山林は全面積が約20haあり、その内6・48haが平成16年台風で被災。その後直ぐに台風災害の補助事業を活用して再造林に向けての作業に着手する。



【前津江山にて 裏面へつづく】

↓ 表面より

現在では下刈り補助（6年）が終了後3年経過して9年生（再造林箇所）となる。

また当時から下刈り・除伐・間伐に使用可能な作業路を整備しており、今後、間伐材の搬出も計画していきたいです。

五馬山林は全面積約13haでその内約10haを今年度間伐済。27年4月～11月の工期で1,100㎡を伐・搬出して完了。

今回の視察は間伐作業完了直後でもあり、仕上がり具合、新規作業路の開設計画（拡張含む）、新規開設の使用林道（トラック運搬道）など境界以外でも視察、確認をしていただきました。

今回の視察は前津江・五馬山林に加え恵良土場でも同様の説明が行われ無事全行程を終了することができました。役員の皆様は長時間にわたり大変御苦勞様でした。



【五馬山にて】

☆林業・木材産業の連携強化に関する検討会の開催

昨年度、日田市が策定した「新しい森林・林業・木材産業振興ビジョン」の中に、地域の関係団体や行政機関・学校・研究機関などと連携を強化して、新しい商品の開発等を進め、産業の活性化を図ることが必要との提言があります。

この提言を受け、当組合では「林業・木材産業の連携強化に関する検討会」を立ち上げ具現化を目指して、検討会を開催しています。日田市のビジョンの策定に関わった北九州大学の城戸教授や九州経済調査協会の担当者に、どのように検討会を進めたいらよいか、瀬戸理事長と事務局で相談に行きました。その中で、ワークショップを開いて、いろいろな意見を出してもらったのも、一つの方策であるとの指導を受け、田主丸在住の地域デザイナーである高山美佳さんを紹介していただきました。

第3回目となる検討会は、平成27年12月21日に高山さんをコーディネーターとしてお願いし、日田スギを使ってもらうための方策について協議を進めました。会議のメンバーは日田市役所・森林組合・建築士会・設計監理協会・原木（協）それに今回は木青会から3名の役員にも参加いただきました。

高山さんは、地元地域である田主丸のぶどう栽培農家を日本一の「巨峰」の産地に導いた仕掛け人でもあり、その例などを基

に話しを展開していただきました。

今までやってきたものを「編み直す」をキーワードに新しい仕組みを創設しています。捨てられていた数十トンのイチゴを加工品として商品化したことや、ハバネロとイチゴのあまおうをコラボして商品にし、東京では倍の単価が取れることの話などを交えながら、日田材の売り込み方などを話し合いました。その一つとして、70軒あるぶどう農家のホームページを作製し、写真を充実して、いろいろな情報を書き込むことにより、ぶどう狩りに来られるお客さんが増えているとのことでありました。日田の製材所も同じ軒数であり、この話を参考にし、今進めているポータルサイトの開設作業を有意義な内容となるよう、関係方面のご意見も参考に、ポータルサイトを創りたいと思っています。

木材産業を活性化するため、組合員の皆様からのご意見をお待ちしています。



☆第2回販売会議

共販委員会主催による第2回販売会議を12月12日に開催致しました。

製品担当より、販売状況と乾燥加工状況を報告し、次に「林野行政と日田もりビジョンについて」と題しまして、日田市農林振興部江崎参与より講話をいただきました。

江崎参与は、初めに日田市が昨年3月に策定した「新しい日田の森林・林業・木材産業振興ビジョン」について説明し、その後、林野庁の考える「木材産業の競争力強化」について説明いただきました。今後、国産材の需要を拡大するには、「マーケットイン（消費者ニーズを優先する立場）」に立つて、新たな木材需要の創設に取り組むことが重要であり、品質・性能の確かな製品の供給や公共建築物、民間非住宅建築物の木材造化・木質化等を進めなければなりません。幸いに、東京オリンピックのメインスタジアムは木材をふんだんに使う設計になっており、木材の利用価値をPRする良いチャンスだと思います。木材業界が一致団結して需要



拡大を図りましょう。と語った。

☆九州の森林・林業・木材産業交流会 i 日田



12月10日パトリア日田にて開催され、九州各県の関係者ら約140名が参加しました。第1部では、九州森林管理局渕上局長、東京大学特任教授安藤先生をお招きし、ご講義頂きました。第2部では、日田の子ども園等に日田杉玩具の贈呈式を行い、子ども達は大喜びでした。第3部では、木造建築普及促進セミナーの受講生より成果発表が行われました。



☆第95回木協ゴルフ会開催

12月6日、天ヶ瀬温泉CCにおいて第95回となる木協ゴルフ会を開催致しました。来賓と組合員合わせて18名の参加を頂き、今回、正副理事長より贈呈頂いた新トロフィーを、優勝の田辺奏様（由ア運送）、準優勝の永松秀基様（大分銀行）に、伊藤ゴルフ会長よりお渡ししました。



☆お知らせ

○原木初市

1月14日、午前9時30分より開催いたします。沢山の応札をお願い致します。

○労働災害防止講習会の開催

日時：2月8日（月）13時～14時
場所：日田木材協同組合2F会議室